

# 春らんまんおすすめウォーキングコース

「まちだ・観光案内人」が提案する、ウォーキング初心者でも楽しめるおすすめの花めぐりコースをご紹介します。

**ルート** 約3km、2時間  
バス停「薬師池」～薬師池公園～野津田見本園～ふるさと農具館～ぼたん園～野津田神社～バス停「薬師ヶ丘」

私たちが案内します

案内人の安藤雅子さん

町田の観光名所のひとつ、薬師池公園の周辺は自然豊かで歩きやすく、初めてウォーキングをする人にはぴったりのコースだ。バス停「薬師池」から薬師池公園に向かい、公園内を散策。桜はもちろん、5月には藤の花が満開となる。ふるさと農具館へ向かう途中の野津田見本園には、春は菜の花、秋には蕎麦の花が一面に広がり、とても美しい。ふるさと農具館向かいの町田ぼたん園では、4月～5月にかけて色とりどりのぼたんやシャクヤクが見ごろとなる。

## 七国山地区コース

**ルート** 約8km、5時間  
多摩境駅～小山内裏公園～片所谷戸～尾根緑道～鶴見川源流～バス停「小山田」

私たちが案内します

右から荒井仁さん、間仁田修さん、山本稔さん

春の尾根緑道は、桜が見事な桜並木となり、ゆつくり花見をしながら散策するのにぴったりのコースだ。多摩境駅を出発後、小山内裏公園を散策し、珍しい品種のホシザクラが見られる片所谷戸へ、尾根緑道の満開の桜を眺めながら、鶴見川源流の泉を目指す。ここでも立派な桜が楽しめる。まさに桜づくしの、春を満喫できるコースだ。尾根緑道では4月3日と4日に「さくらまつり」が行われるので、合わせて出かけてみてはどうだろう。

## 小山田地区コース

**ルート** 約4km、3時間  
鶴川駅～熊野神社～高蔵寺～三輪の里山～白坂横穴古墳群～沢谷戸自然公園～三輪の古道～開戸親水ひろば～可喜庵

私たちが案内します

加藤瑞枝さん(左) 桑原秀夫さん(右)

三輪地区は里山の原風景や、自然がそのまま残っているところが魅力だ。鶴川駅を出発し、川沿いを散策。熊野神社や高蔵寺で悠久の歴史に触れ、三輪の里山では、桜などの豊かな自然が見られる。白坂古墳群には7世紀頃の横穴墓穴が2基、見学用に保存されている。沢谷戸自然公園は「鶯谷」と呼ばれ、うぐいすの鳴き声がよく聞こえるので、ここで食事をするのがおすすめ。食事の後は三輪の古道を通り、茅葺の古民家「可喜庵」を目指すコースだ。

## 三輪地区コース



## 「まちだ・観光案内人」 町田の観光資源を市民の力で宣伝！

町田のことなら自分に任せて！という方々が応募してスタートした「まちだ・観光案内人」。気楽な仕事…と思いきや、自分の足で歩くだけでなく、机に向かって勉強したり、ウォーキングのルール作りにも参加したりと、やりがいがありそうだ。

### 「まちだ・観光案内人」とは？

町田の魅力をもっと市民自らが発掘し、発信して欲しいと、町田市観光コンベンション協会が2009年に公募した制度。応募者は12の養成講座の受講に加え、筆記・論文・実地（模擬ガイドツアー）の3つの試験合格を経て、はじめて修了証書を手に出される。現在は、45人が登録されており、すでに実際のガイドツアーも行われている。観光案内人たちは、市内5つの地域を、5つのグループに分かれて担当している。担当地域の歴史や環境、観光資源など、日々勉強する毎日ということだ。また、ガイドツアーは有料制となっている。町田市観光コンベンション協会によれば、より質の高いガイドをしてもらうため、ということだ。

今回、前ページの南町田駅周辺のガイドをしていただいたのも「まちだ・観光案内人」の皆さん。その豊富な知識には驚くばかり。愛する地元・町田の良いところを知ってほしいという熱意がひしひしと伝わってくるガイドツアーであった。

## ウォーキングのマナーを知ろう

ウォーキング人口が増えると、周辺の環境に影響を与えてしまうのも確か。そこでウォーキングの基本的なマナー&ルールについて観光案内人の方に聞いてみた。

- I 一般的なマナー&ルール**
  - 個人の土地に入るべからず
  - 山林地区は個人の土地との境界が分かりづらい。案内板には、注意を払うこと。
  - ごみ、廃棄物を捨てるべからず
  - 梅干のタネなど食べ物の類は動揺しやすい。捨ててはいけないもの。
  - 動植物、農作物を採取するべからず
  - 採取自体が禁止されている場合もあるが、そもそも自然保護の観点からも好ましくない。また、農作物は個人の所有物、いつまでもない。
  - 車道でない樹林地へ車で入るべからず
  - 徒歩では不便なところもあるが、車で出向いても駐車場は少ない。目的地へは公共交通機関を利用したい。
  - 旅先では礼儀を忘るべからず
  - 見知らぬ土地で「恥はかき捨て」ということがないよう、慎みと節度をもって行動したい。出会った人にはあいさつをしよう。
- II 農地には立ち入らない**

田畑の周囲の道は、基本的に私有地が農業を営む人の生活道路。むやみに立ち入ることは控える。
- III 寺社を訪問するとき**

寺社を訪ねたら、おさい銭を供え、お参りをしたい。文化的・歴史的資産への心遣い。
- IV 人家周辺を歩くと**

大声で話したり、住んでいる方の迷惑となる行為は慎む。また綺麗な庭先や豪奢なお屋敷を見ると、つい写真を撮りたくなるが、ご法度行為だ。

マナー&ルールのお話を伺った観光案内人の吉森実さん(左)と近藤安雄さん(右)